

☆ 編集後記

やっとできた。と書いてる今はまだできていない。

雑誌編集者の苦勞がわかってきた。なによりも×切を守らない人達の気が知れない。と書いてる僕は×切2日後に出したけど……。しかしこうして集まった原稿に目を通してみると、率直なところ、内容に盛り上がり欠けているものが多いと言えないだろうか。特にクラブ行事について書いている人はもっと詳細を書いてほしかったような気がする。先の点太郎さんや土井さんはよく書いているのでほめてやってもいいと思う。と、いまさらおたててみても始まらないか。書誌としても落度は少なからずあったように思われる。つまり、あまりせかし過ぎたために形式テンパイする人が多くなったことである。もうちょっとリラックスした雰囲気を書いていたらと惜やまれる。とか何とかなってるけど、僕にはそんなこと言う資格ないのかなあ……。

(なお)原稿を出すのは 昭和54年4月1日 発行

遅かったけれど印刷 TOP AND LOW

するのをこたえてくれた 編集者 志波邦男 金井均

西尾さんには大人な感 発行者 T.I.T.C.C.

謝しています。) (東京工業大学サイクリング部)

無断転載はかまいません